

一条通病院	旭川市東光1条1丁目	34 2111
旭川医院	旭川市神楽3条4丁目	61 1117
宗谷医院	稚内市末広3丁目(稚)24	1117
ながやま医院	旭川市永山5条11丁目	46 2211
一条クリニック	旭川市東光1条1丁目	34 1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽3条4丁目	63 1165
東光ぬくもりポート	旭川市東光1条1丁目	34 2917
宗谷さわやかポート	稚内市末広3丁目(稚)24	2223
旭川きた介護センター	旭川市大町2条14丁目	53 2111

道北の医療

発行所
社会医療法人
道北勤労者医療協会
〒078-8341 旭川市東光1条1丁目
TEL 0166-33-1117
FAX 0166-32-6925
発行者 橋本浩徳

コロナ禍、物価高、年金の引き下げの中

75歳以上の医療費が2割負担へ！

対象者は
約**370**
万人

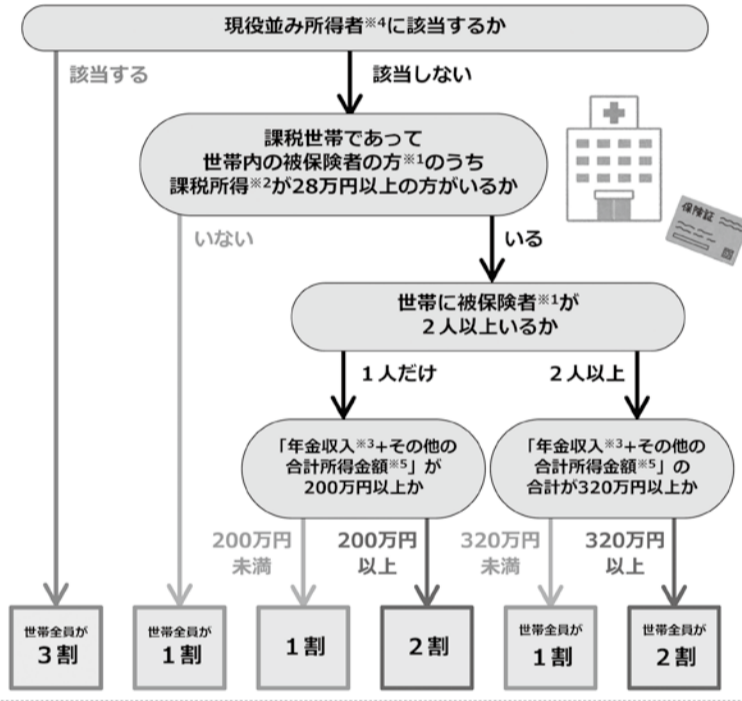
政府は10月から75歳以上の一定以上所得者の医療費の自己負担を1割から2割に引き上げました。2割負担になる対象者は、75歳以上の単身者で年収200万円以上、複数世帯は合計で320万円以上の年収のある方です。現役並み所得者は今まで通り3割負担のままです。

民医連のアンケート調査では

全日本民医連が行ったアンケート調査では、医療費が2割負担になったらどうしますか？「対し、受診回数を減らす」、「薬の飲み方を調整する」など、これまで通りの医療が受けられないと約3割の方が回答しています。医療を受けることは憲法で保障された権利(受療権)です。自己負

窓口負担割合2割の対象となるかどうかは、主に以下の流れで判定します

- 世帯の窓口負担割合が2割の対象となるかどうかは、後期高齢者医療の被保険者^{*1}の課税所得^{*2}や年金収入^{*3}をもとに、世帯単位で判定します。
- 住民税非課税世帯の方は、基本的に1割負担となります。(令和3年中の所得をもとに、令和4年8月頃から判定が可能になり、9月中に被保険者証を交付します)



厚生労働省のフローチャート

みんなの願いは安心して必要な医療が受けられること

現役世代と同じ負担と言いますが、一人当たりの年間収入に対する一部負担の割合は、現在の1割負担でも75歳以上の方が現役世代より多く、政府の説明と実際は全く矛盾しています。これを2割にすれば不公平をさらに拡大するだけです。実際の負担軽減は月30円程度。政府は高齢者の医療費を支える若い世代の負担

医療費にお困りの方は、職員にご相談ください。



岸田内閣は10月から75歳以上の方の医療費を2割にします。民医連は多くの方と反対しています。

75歳以上の単身で200万円以上、複数世帯は合計320万円以上の年収のある方
全日本民医連 (全日本民医連事務局長 橋本浩徳)

軽減がねらいと説明していますが、実際の負担軽減は月額30円程度です。高齢者は「若い世代に負担はかけられない」と言

い、コロナ禍や物価高の中、厳しい生活を送っています。世代間の対立をあおって、生命にかかわる高齢者の一部負担金を2倍に引き上げることが許されません。このようなやり方に若い世代からも「2割化反対」の声が上がっています。今後は国会審議なしで負担増の範囲が広がる？ この法律には、2割にする対象は別途「法令に定める」としています。現在は単身の年収200万円以上とされています。政治への転換を求めましょう。ぜひご協力下さい。

政治への転換を
いのちを大切に
誰かが年を重ねて、いざれ高齢者になります。75歳未満の人にとっても他人ごとではありません。『未来の私たち』の問題です。私たちの望む社会は、差別されることなく、誰もが「必要な時に必要な医療を受けられる」ことです。

全日本民医連では、75歳以上医療費窓口負担2割化中止署名を集めています。いのちを大切に政治への転換を求めましょう。ぜひご協力下さい。

けんぴきょう

1970年に上映されたひまわり。主演はイタリア映画界を代表するソフィア・ローレンとマルチェロ・マストロヤンニ。ヘンリー・マンシーニによる哀切な音楽も印象的。第二次世界大戦で戦火に引き裂かれた男女の悲しみを描いたこの映画の重要な舞台となったのは、当時ソ連の一部だったウクライナ。西側の映画としては初めてソ連国内で撮影が行われた作品でもあった。中でも印象的なのは、物語の終盤に登場する画面いっぱい広がるひまわり畑のシーン。これはウクライナ中部に位置するドニエプル川左岸のポルタヴァ州チエルネーチー・ヤール村である。プーチン大統領は部分的動員令を発動し、ロシアの若者を戦場へ送るようとしている。さらにウクライナの東部や南部の一方的な併合を狙い、住民投票を実施。ロシアとの併合を進める。報道では、この近くにもロシア軍によるロケットが数発着弾し、常に危険な状態が続いている。全世界を感動させたあの美しい光景が失われてしまいかもしれない。ひまわりの花はウクライナの国花。いまロシアの軍事侵略に対する抵抗の象徴にもなっている(た)

